



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院  
発行責任者 昭和大学病院長 有賀 徹  
編集責任者 広報委員長 河村 満  
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8  
TEL : 03-3784-8000 (代表)

昭和大学病院のホームページ : <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>

昭和大学病院附属東病院のホームページ : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHE/>

### 2年間の初期臨床研修をとおして

初期臨床研修医 2年次代表 金澤 建

2年前の穏やかな春の日に、学生時代から慣れ親しんだ上條講堂で入職式が行われました。医師国家試験に合格して医師としてのスタートラインに立ったのだ、という気持ちの高ぶりと、少しばかりの不安を持っていました。それがもうじき研修期間が終わろうとしています。

この間、いくつもの科をローテートして、院外でも研修しました。今、様々な記憶があります。特に一番初めの血液内科での出来事は忘れられません。研修医と言っても、4月は医学生とあまり変わらず、知識は言わずもがな、採血、点滴などの手技においては右も左もわからず四苦八苦しました。ある時、化学療法中の患者さんに点滴を入れる必要がありました。なかなか点滴が入らず焦っていた私に、その患者さんは「痛いけれど私頑張るよ。だから先生も頑張ってください」と声を掛けてくれました。その時、自分がどんなに救われたことか。それと同時に、医師は医術で患者さんを「救っている」のではなく、常に患者さんから知識、技術などあらゆることを学ばせて頂いているのだと、心底思い知らされました。

2年目の4月、私自身が体調を崩し救急外来を受診しました。混み合う待合室、いつもはそこまで深く考えてなかった待ち時間でしたが、患者にとっては長い時間でした。患者という逆の立場に初めて立ったことで、それ以後外来の患者さんを診察室に入れる際には、「お待たせしました」と必

ず言うようになりました。

研修期間中、患者さんだけでなく、上級医、看護師、薬剤師をはじめとした多くのメディカルスタッフの方々と出会い、お世話になりました。医療人として、時には厳しく指導していただきました。研修に少し慣れてきて気の緩みが出ていた時期に、上級医から「患者さんは君に命を託している。君が診ている患者さんは大勢いるかもしれないが、目の前の患者さんは君を頼っているのだ。しっかり勉強しろ」と、はっぱをかけられました。

初期研修を終え、4月から昭和大学病院の小児科に入局する予定です。この2年間で学んだことを糧に、常に驕らず、謙虚に働き、研修期間で出会った人々、学んだことを忘れず、医師として歩んでいきたいと思います。



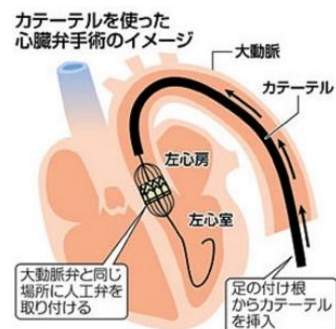
## 循環器内科でTAVI外来を開設いたしました

昭和大学病院ではハイブリット手術室が稼働し、今まで以上に高精度で高難度の手術に対応することができるようになり、ハイブリット手術を効果的に活用したTAVIを実施しています。そのため、対象の疾患を専門とした「TAVI外来」を開設いたしました。

### TAVIとは

“Transcatheter Aortic Valve Implantation” の略で、「経カテーテル大動脈弁留置術」と訳されます。「大動脈弁狭窄症」等の患者さんを対象に、この治療は患者さんへの負担が少なく、外科手術を受けられない高齢の患者さん等を救う治療法として期待されています。

循環器内科、心臓血管外科を中心に、麻酔科医、臨床工学技士、診療放射線技師等、担当する診療科の垣根を越え、チーム医療でスタッフ一同協力して治療を行っています。



### 外来の対象となる患者さん

「大動脈弁狭窄症（疑い）の患者さん」

大動脈弁狭窄症の代表的な症状は、体を動かした時に胸の痛みを感じる狭心症、突然意識を失ってしまう失神、体動時の息苦しさや両足のむくみなどの心不全症状などがあります。こうした症状が出現した場合には、その後の経過は非常に急速で、数年以内に命を落とすことも多いとされており、早急な対応が必要です。また、突然死を起こすこともあり、慎重な経過観察と適切なタイミングでの治療介入が重要です。

### 診療日時&診療予約

毎週火曜日：午後、木曜日：午後（紹介予約制）

ご予約は、医療連携室（03-3784-8400）へご連絡ください。

（循環器内科専門の医師が担当し、外来当日に心臓超音波検査を実施し、病状の進行状況を  
確認しTAVIの治療適応の有無などを判断いたします。）

文責：循環器センター

## 第6回「旗の台消化器センター地域連携フォーラム」開催のご案内

下記の日時にて第6回旗の台消化器センター地域連携フォーラムを開催致します。ご興味のある医療関係者の方々は是非ご参加ください。

日時：平成28年2月23日（火） 19時30分～

場所：目黒雅叙園 2F 「舞扇の間」

会費：1,000円

講演内容：『興味ある紹介症例』

内視鏡センター センター長 山村 冬彦

『外来での漢方の使い方と注意』

生理学講座 生体制御学部門 客員教授 石野 尚吾

『当院におけるラジオ波焼灼療法の現状と展望』

消化器内科 助教 下間 祐

『腹腔鏡肝脾手術は安全か？』

消化器・一般外科 助教 草野 智一

問い合わせ先 医療連携室（電話：03-3784-8400）

平成27年10月31日（土）に近隣医療機関の先生方との連携を目的とした、昭和大学クリニカルセミナー第30回記念会・昭和大学医師会20周年記念会を開催いたしました。

今回のクリニカルセミナーでは「株式会社ギミック ドクターズファイル編集部」の取材協力により、「総合医療情報サイト「Doctors File」」特集ページの記事として掲載されましたのでご紹介いたします。

<掲載内容（抜粋）>



「患者本位の医療」「高度医療の推進」「医療人の育成」を病院理念に掲げ、地域完結型高度医療の実現をめざす昭和大学病院では、地域医療連携の一環として、クリニカルセミナーと題した病院内外向けの講演会を定期開催し、地域の開業医との交流を深めている。平成27年10月31日におこなわれた、昭和大学クリニカルセミナー第30回記念会および昭和大学医師会20周年記念会を編集部が取材した。



特集記事は   で閲覧することができます



DoctorsFileとは、全国の医院・病院の総合情報サイト。診療科目、行政区、駅・路線、診療時間・曜日など、様々な条件から医療機関の検索ができる。

また、医師の診療方針や得意な治療・検診情報など、医療に関する様々な情報を独自取材により紹介している。

## 超高速で高い時間分解能を有する CT の導入について

CT 検査装置 SOMATOM Force CT (SIEMENS 社製) (図-1) が平成 27 年 11 月 26 日から稼動しました。本装置の最大の特徴は、超高速撮影が可能であることと、胸部 CT 検査など X 線撮影と同等の低被ばく線量で検査を行うことができることです。心臓の検査は 0.3 秒、胸部の検査は 0.5 秒で撮影が可能となり、撮影する際に息止めの必要がなく検査が可能になりました。さらに、高い時間分解能 (カメラでいうシャッタースピード) を有しているため、小児の高心拍数の心臓検査 (図-2) も撮影が可能です。また、本装置は、同部位を 2.0 秒毎に撮影することができます。そのため、造影剤がステント内を流れていく様子など、血管造影検査と同様な画像を得ることができ、今までできなかったステント留置後の評価が可能 (図-3) であります。



図-1 : SOMATOM Force CT (SIEMENS 社製)

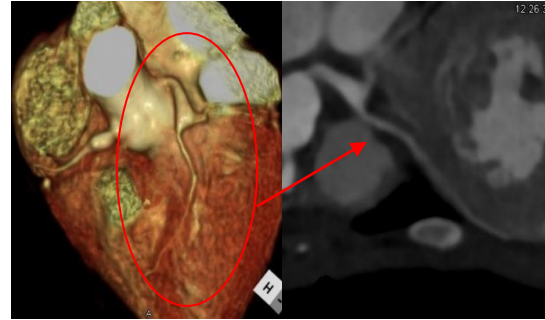


図-2 : 小児心臓 CT 画像

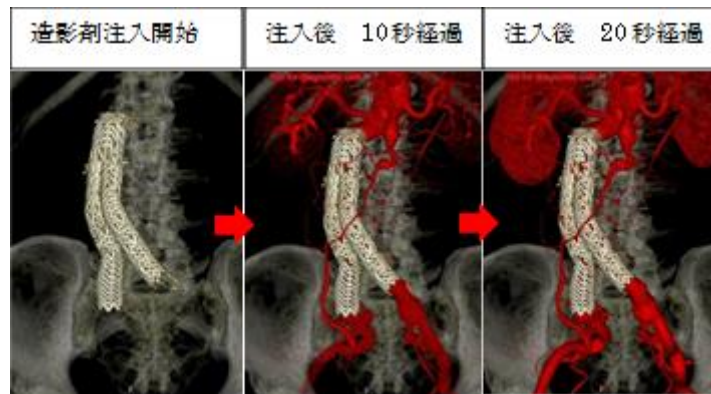


図-3 : 血管造影検査と同様なステント留置後の CT 画像

文責：放射線室

## 最終講義のご案内

平成 27 年 3 月末で定年退職される先生の最終講義が下記の通り開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。是非ご来聴ください。

● 医学部 救急医学講座

教授 有賀 徹

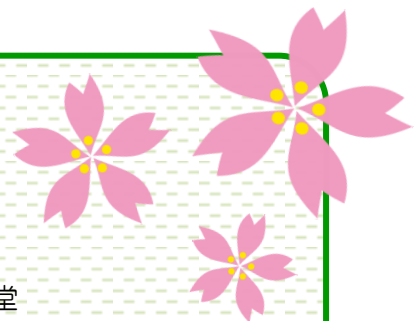
日 程：平成 28 年 2 月 12 日 (金)

時 間：16:00~17:00

場 所：昭和大学病院 入院棟地下 1 階 臨床講堂

テーマ：我が国の医療提供の仕組みと、医療者の未来

※当日は誠に勝手ながら、生花の受取りは辞退させていただきます。



文責：管理第一課

## 院内コンサート報告

平成 27 年 12 月 18 日（金）、東病院 3 階デイルームにおいて第 15 回院内コンサートを開催しました。オカリナとコカリナという珍しい楽器でいざなうクリスマスソングは素朴で温かく、一層心に響いたのではないのでしょうか。用意された歌詞を見ながらみんなで声を合わせ 7 曲を歌いました。

奏者：「メリーゴーランド」

オカリナ・前川さん、高杉さん、コカリナ・野館さん、  
ギター・赤石さん

演目：シングルベル、サンタが町にやってくる、  
赤鼻のトナカイ、もろびとこぞりて、樅の木、  
ホワイトクリスマス、聖夜



クリスマスメドレー演奏

参加者：46 名 職員：10 名

コカリナとは・・・オカリナに似た木製の楽器

♪参加された方々の声♪

- ・この時期に入院していないと出会えないコンサート！ ラッキーでした。ありがとう。
- ・とてもよかった。ちょうどよい時に入院していたものです。90 歳です。よい年末でした。



平成 27 年 12 月 19 日（土）中央棟 1 階エントランスホールにて第 70 回院内コンサートを開催しました。院内コンサートも今回で 70 回目。年間 7 回開催していますので 10 年が経過したことになります。

今回の出演者はマミー（ママ）たちの女声コーラスグループ「エンジェルマミーコーラス」で、ここ 5 年来、毎年クリスマスソングを中心に演奏して下さっています。温かい優しさに包まれながら過ぎ行く一年に想いを馳せた方も多かったのではないのでしょうか。



コーラスで翼をくださいを歌い上げる

指揮・ピアノ独奏：平沢匡郎さん  
合唱：エンジェルマミーコーラス

演目：コーラス／翼をください、トゥモロー、  
四季のメドレー、オー・ホーリーナイト、  
童謡・唱歌、クリスマスキャロルメドレー、  
ピアノ演奏とおはなし／そりすべり、樅の木、  
誰が鐘を鳴らしたか 他

参加者：128 名 会場ボランティア：8 名 職員：14 名

♪参加された方々の声♪

- ・面会に来た者ですが、偶然のチャンスで聴くことができ、非常に感謝。患者のみなさんの心に残ることでしょう。一緒に楽しませていただきました。

文責：管理第一課 ボランティア担当

臨床工学室は 17 名（男性 11 名、女性 6 名）の臨床工学技士と 1 名の事務職員で構成されています。臨床工学技士は生命維持管理装置の操作および保守管理を業とする医療機器の専門医療職です。業務は医療機器の保守管理業務と臨床支援業務に大別され、臨床工学の分野においてジェネラリストとして幅広い業務経験を積み重ねた後、スペシャリストとして質の高いチーム医療を提供することを目指しています。また、病院内には生命維持管理装置以外にも多くの医療機器があります。医療安全管理部門と連携して医療機器の保守管理、安全使用のための研修会の企画・実施、安全使用に関する情報収集および効率的運用を命題に医療機器の適正管理に努めています。さらに今後は、「手術室運用合理化プロジェクト」において、臨床工学技士の業務拡大を図り手術室運営に貢献したいと考えています。

手術室・ICU 部門（色部 淳一 係長）

手術室・ICU では麻酔器、人工呼吸器、電気メスなどの多種多様の医療機器が使用され、これらの機器の操作・メンテナンス・定期点検や使用中のトラブル対応を行っています。また、今年度よりハイブリッド手術室が稼働しており、12 月からは開胸せず（心臓が動いている状態）、カテーテルによる人工大動脈弁を装着する治療法（TAVI）が開始され、急変時の体外循環要員としても携わっています。

中央機器管理・IVR 部門（岩城 隆宏 係長）

機器の貸出返却管理や保守点検を管理するには専用ソフトが必要となります。機器を借りに来られた際のバーコードもこのソフトの機能です。通常、数百から数千万円するパッケージソフトですが室員の開発により数十万円とお手頃価格で導入でき、コンテストで賞をとったことのある本格派です。近々、このソフトを元にメーカーが開発したソフトが導入されます。貸出方法に若干の変更がありますがより簡便になる予定です。



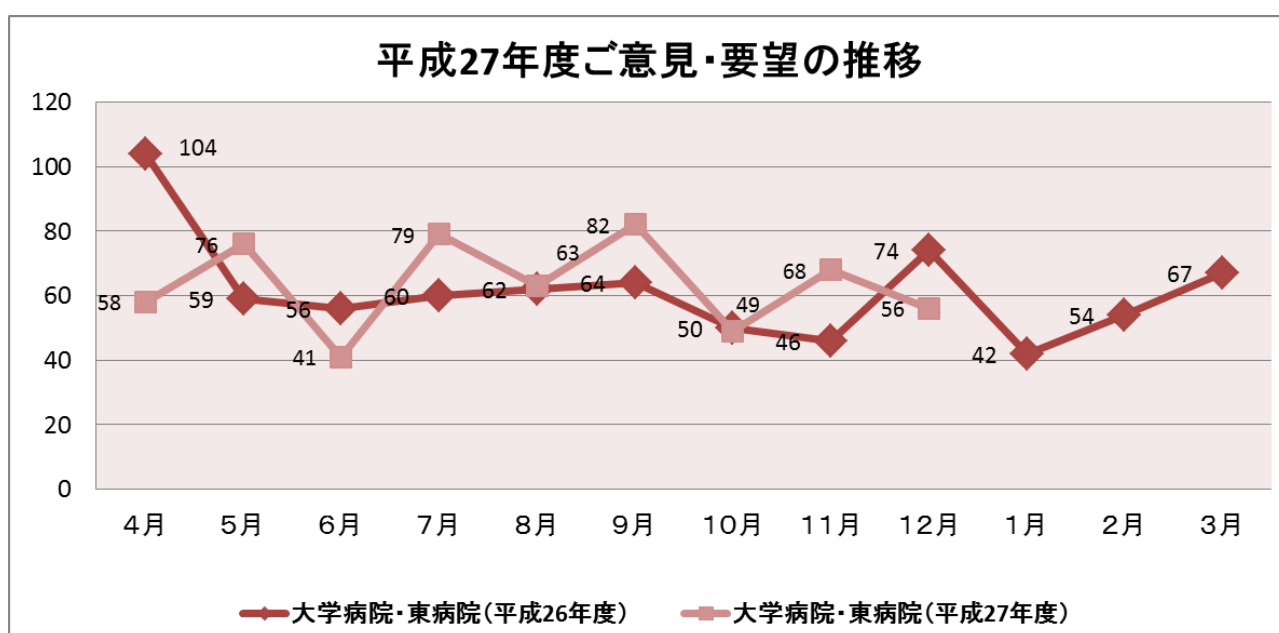
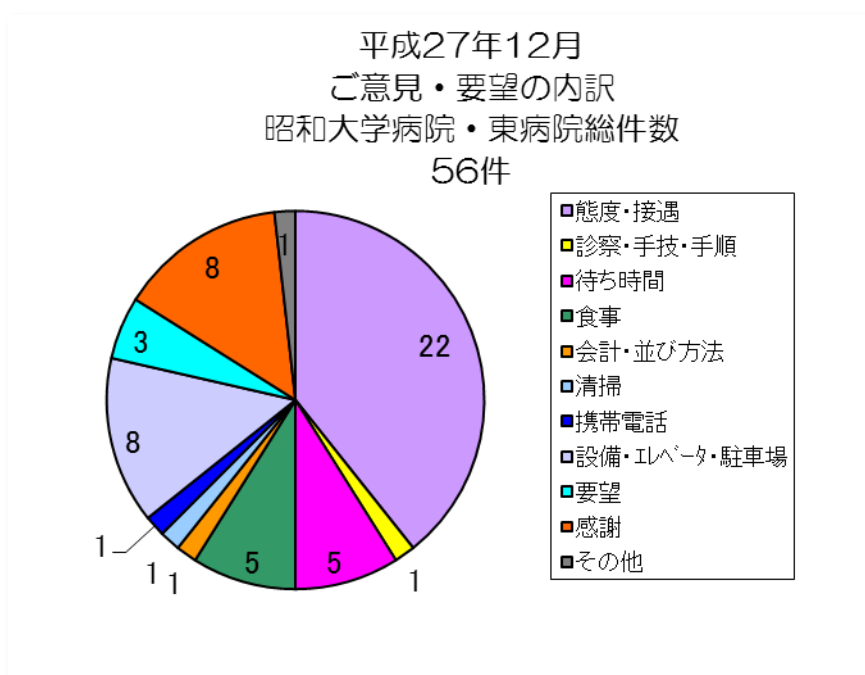
血液浄化部門（柿沼 浩 係長）

一般的な血液浄化は血液を体外に出し、綺麗にした（病因物質の除去）血液を体内に戻す治療です。治療にはもちろん多くの医療機器や材料が使用されています。

血液浄化装置は、放っておくと急に不機嫌になり怒ることもあります。定期的にメンテナンスすると長持ちします。機械もまるで人間みたいで、小さな変化も気付いてあげるようにしています。また、患者さんの生命予後や QOL 向上のために、“透析液清浄化”にも臨床工学技士業務として積極的に携わっています。

## 患者さんのご意見・要望

ご意見・要望	回 答	回答部署
<p>昨日の夕食の味付けがしょっぱかったです。塩分は少しひかえめにしてください。</p>	<p>食事摂取基準をもとに塩分量を調節しております。また、味付けにつきましては、複数の職員で味見を行い提供をしております。今後も食事のアンケート調査などを行い、なるべく多くの方に美味しいと感じていただける味付けを心がけたいと思います。</p>	<p>栄養科</p>



## 各種お知らせ

### ・保険診療講習会

日 時：平成28年2月15日（月）17:30～18:30

場 所：上條講堂

対 象：全教職員

内 容：特定共同指導を終え、よりよい保険診療と再指導にむけて



### ・第16回東病院院内コンサート

日 時：平成28年2月19日（金）15:00～

場 所：3階デイルーム

出 演：榊<sup>さかき</sup> 紫<sup>ゆかり</sup>さん 他

内 容：バイオリン、シンセサイザーによる演奏

## 編集後記

新年を迎えたと思ったら、あっという間に2月になりました。2月は陰暦で「如月（きさらぎ）」と書きます。「きさらぎ」の語源を調べてみると、寒さで着物を更に重ねて着ることから「着更着」や「絹更月」となったのが有力説でした。他には、新たな草木が芽生えるとする「生更木」、気候が陽気になる季節で「気更来」とする説に辿り着きました。

なるほど、何れの「きさらぎ」もその漢字や意味に趣を感じます。まだまだ寒さは続きますが、「病院だより」はホットで趣のある便りとなるよう今後も“更に”努めたいと思うこの頃です。

田中 克巳

## 昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者さん本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

## 昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんが受診しやすい、患者さんのQOLを重視した、質の高い医療を提供する。
- ・地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
- ・教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習および生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
- ・生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：[tayori@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:tayori@ofc.showa-u.ac.jp)までお願いいたします。

病院広報委員会委員： 荒川 千春、板橋 家頭夫、伊藤 亜紀子、片保 裕基、門倉 光隆、河村 満、日下部 まり奈、佐藤 久弥、田代 ゆい、田中 克巳、二木 芳人、平野 勉、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）